

## 卒業時アンケート（学部対象）

対象 : 学部卒業論文提出者  
 実施期間 : 2016年1月4日(月)～6日(水)  
 実施方法 : 教務係へ卒業論文を提出しに来た者に、アンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらう。また回収箱は評価・広報室前掲示板にも設置した。  
 論文提出者 : 171名  
 回答者数 : 168名  
 回答率 : 98.2% ※2014年度 91.6%

結果まとめ **質問ごとに(全体) (実数)**

【専修】 所属する専修は次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T			
哲学・思想文化学	倫理学	中国哲学	インド哲学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	日本学	人文地理学	日本語学	日本文学・国語学	比較文学	中国文学	英米文学・英語学	ドイツ文学	フランス文学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	専修名無効	合計	
6	10	2	0	12	9	8	4	18	8	17	8	6	3	17	2	1	18	8	8	3	168	
18				33				43				17			20			34				
哲学ブロック				歴史学ブロック				日本学ブロック			東洋文学ブロック			西洋文学ブロック			芸術ブロック					

質問1 あなたが所属する専修において開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
64		78		21		2		3	

質問2 あなたが所属する専修において開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
48		87		28		3		2	

質問3 あなたが所属する専修において開講されている授業の内容は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
80		74		12		2		0	

質問4 文学部の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	23		85		48		9		3

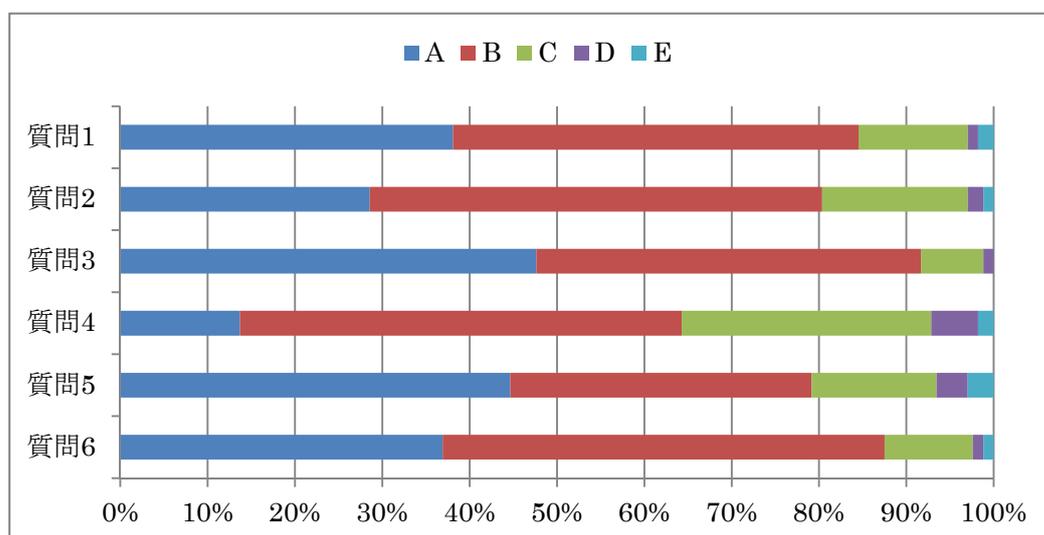
質問5 卒業論文の作成や日常の研究について、教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強く思う	B	やや思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
	75		58		24		6		5

質問6 大阪大学文学部での勉学は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	62		85		17		2		2

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学部での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いて下さい。

【授業について】

- ・専修選択時に非常に迷ったので、1年の時から専門科目に参加したい。
- ・専門科目を1回生から受講することができて良いのではないか。
- ・共通教育の授業と文学部の集中講義が重なった際の対策を考えて欲しい。制度の問題で講義に出られない事態になっており、改善を強くお願いいたします。
- ・教職に関して。高校公民の教科に関する科目の授業が少ないので増やして欲しい。高校公民の免許取得をあきらめた。
- ・日本学の授業は日本学専修の学生にのみ履修を許可しているものが多く、関心のある授業を受講することができず残念でした。
- ・難しすぎる授業や何の役にも立たないような授業が多い。他学部等の単位が認められるかはっきりさせる。

・毎セメ同じような内容の授業をする先生もいました。その先生の他の分野の話も聞きたかったです。

【卒論について】

・卒論の提出時期について、就職活動の予定変更を考慮して後ろ倒しして欲しかった。また年始すぐはやめて欲しい。

・卒論制作の方法や意義を広く教えてくれる講義が欲しい。

【他学部との交流について】

・もっと他学部との交流講義・演習が欲しかった。

・他分野との交流の機会が欲しかったと思います。

【教務について】

・教務のお昼休みはシフト制にして、1日中開けて下さい。

・KOAN のシステムが分かりにくい。教職関連の教務が吹田にしか存在しないことが非常に不便。WEBメールが転送されてこない。郵送など、アナログな方法の方が確実だと思われま

【設備について】

・設備の充実（教室、図書室など）をお願いしたいです。

・休みや6時以降、学部生も学生証で本館に入れるようにして欲しい。

・学部生も夜は入らせて、シャワー使わせて、管理しないで。

・本館の24時間利用を可能にして欲しい。

・トイレが臭い。

【その他】

・本当に有り難うございました。

・不易流行でこれから一層学問を深化されることを祈念いたします。

・閉鎖的かつ、絶対的な力関係のある研究室という環境は、常にハラスメントが起こりうる状態にあるということをより皆で共有できるための施策が必要であると考えました。

自由記述欄についてのご回答

1年次からの専門科目履修を希望する声がありました。現在、「共通概説」や専門基礎科目などを1年次学生のために開講しています。各専修の研究内容を知るために意義のある科目ですので、どうぞ積極的に履修下さい。集中講義の開講時期については、現在全学において学事歴の大きな見直し作業が進んでいます。文学部だけでは調整の難しい問題についても今後対応していきたいと思

います。  
他学部の単位を卒業単位に認めるよう要望がありました。現在規定上、24単位を上限として認められることがあります。積極的にこの枠を活用下さい。

授業についても意見をいただきました。授業の方法や内容については、FD 研修などの場を通して常に改善に取り組んできました。今後も努力を継続していきます。

事務体制についても要望がありました。教務係は昼休み 12:30 から開室しています。教職関係で吹田の本部でしか対応できない手続きがあるのは不便をおかけしています。これは文学部だけでは対応の難しい問題であり、今後も機会をとらえて全学に要望していきます。

設備については、本館の 24 時間利用についていくつか要望がありました。本館の正面玄関については 24 時間開錠されております（ただし防犯対策として、深夜の研究室利用は推奨していません）。本館での学生利用スペースや、教室での IT 機器増設などについても、今後もさらなる充実に努めます。

研究室でのハラスメントの問題については、われわれも重々認識するところです。本学部ではハラスメント相談室を設け、教員が室員として相談活動に当たっています（メンバーについては文学部ホームページをごらんください）。また、教職員向けに講演会などを開催し、日々 FD 活動に従事しています。まだまだ不十分があるかもしれませんが、よりよい環境整備のためにご協力ください。

最後になりますが、「不易流行」のお励まし、ありがとうございます。重々服膺します。お礼の言葉もいただきました。学生のみなさんと共有した教学の経験こそ、われわれの財産です。